

## 学生確保の見通し等を記載した書類

### 目次

(1) 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	・・・	p. 1
① 学生確保の見通し	・・・	p. 1
② 学生確保に向けた具体的な取組状況	・・・	p. 4
(2) 人材需要の動向等社会の要請	・・・	p. 6
① 人材の養成に関する目的その他の 教育研究上の目的（概要）	・・・	p. 6
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を 踏まえたものであることの客観的な根拠	・・・	p. 6

## 学生確保の見通し等を記載した書類

### (1) 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ① 学生確保の見通し

##### ア 定員充足の見込み

医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻（修士課程）の入学定員については、全国の保健系大学院及び近隣の競合大学院の入学状況（資料 1、資料 2）及び本学の教員組織、校地、校舎等の施設、設備等を総合的に検討し、長期的かつ安定的に学生を確保できる適正な規模として入学定員を 3 人に設定した。

学生確保の見込みについては、本学の学部 3 年生による進学に関するアンケート調査（資料 3）で「卒業後すぐに進学したい」と回答した者が 2 名（3.1%）、「卒業後は病院・施設等に就職し、実務経験を積んだ後に進学したい」と回答した者が 6 名（9.2%）だったこと、本学を卒業した現職柔道整復師による進学に関するアンケート調査（資料 4）で「進学したい」が 1 名（4.5%）、「将来的には進学したい」が 1 名（4.5%）だったこと、専門学校生による進学に関するアンケート調査（資料 5）で「卒業後すぐに進学したい」と回答した者が 6 名（1.8%）、「卒業後は病院・施設等に就職し、実務経験を積んだ後に進学したい」と回答した者が 31 名（9.2%）だったこと、病院・施設等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査（資料 6）で現職の柔道整復師が働きながら大学院で学ぶことを「大いに推奨する」と回答した病院・施設が 8 件（38.1%）あったことから、現職の柔道整復師及び本学の卒業生及び外部の専門学校の卒業生の入学が見込めるため、長期的かつ安定的に学生が確保できると判断する。

##### イ 定員充足の根拠となるデータの概要

#### 資料 1 私立大学院の保健系修士課程の入学志願動向

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」（平成 26～30 年度）から、私立大学院の「保健系」研究科修士課程の過去 5 年間の志願動向をまとめた。

「保健系」研究科修士課程については拡大傾向にあり、研究科数（92→125）、入学定員（1,656 名→1,979 名）、志願者数（1,722 名→2,126 名）、入学者数（1,402 名→1,773 名）のいずれも増加している。

ただし、平成 30 年度の 1 研究科当たりの入学定員は 15.8 名、同じく 1 研究科当たりの

入学者数は14.2名であるため、理・工学系の研究科の修士課程と比較すると規模が小さい。さらに、「保健系」には、看護、リハビリテーション、栄養、医療技術、公衆衛生などが含まれるため、各分野の入学定員・入学者数は更に細分化されている。

#### 資料2 本学の近隣の競合大学院修士課程の入学志願状況

本学（東京都足立区）の近隣の私立大学院の競合研究科について、過去3年間の入学志願状況をまとめた。柔道整復学の専攻等を有する研究科を競合とみなした。

入学定員は、3名～8名でいずれも少人数である。平成30年時点で3校が未充足である。したがって、本学の入学定員についても適切な規模を検討する必要がある。

#### 資料3 進学に関するアンケート調査①（学部3年生対象）

平成31年1月に、本学の医療科学部東京柔道整復学科の3年生を対象に、本専攻に対する進学意向アンケート調査を実施したところ、65名から回答を得た。

問2で、大学卒業後の希望進路について質問したところ、56名（86.2%）が「柔道整復師として病院・接骨院（整骨院）等に就職」と回答し、「大学院への進学を希望」と回答したのは4名（6.2%）だった。

さらに、問4で医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻（※アンケート時点で検討していた名称）への進学意欲を質問したところ、「卒業後すぐに進学したい」と回答した者が2名（3.1%）、「卒業後は病院・施設等に就職し、実務経験を積んだ後に進学したい」と回答した者が6名（9.2%）いた。

したがって、学部を卒業後すぐに大学院に進学するニーズが高いだけでなく、柔道整復師として実務経験を積んだ後に進学を希望するニーズも高いことが分かった。

#### 資料4 進学に関するアンケート調査②（現職柔道整復師対象）

平成31年1月に、本学の医療科学部東京柔道整復学科を卒業し柔道整復師として勤務している者を対象に、本専攻に対する進学意向アンケート調査を実施したところ、22名の柔道整復師から回答を得た。

問4で医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻への進学意欲を質問したところ、「進学したい」が1名（4.5%）、「将来的には進学したい」が1名（4.5%）だった。

したがって、計2名（9.1%）が進学に対して意欲を示していることが分かった。

#### 資料 5 進学に関するアンケート調査③（専門学校生対象）

平成 31 年 1 月に、全国の 10 校の専修学校専門課程の柔道整復学科の学生を対象に、本専攻に対する進学意向アンケート調査を実施したところ、10 校 338 名から回答を得た。

問 2 で、専門学校卒業後の希望進路について質問したところ、308 名（91.1%）が「柔道整復師として病院・接骨院（整骨院）等に就職」と回答し、「大学院への進学を希望」と回答したのは 13 名（3.8%）だった。

問 4 で医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻への進学意欲を質問したところ、「卒業後すぐに進学したい」と回答した者が 6 名（1.8%）、「卒業後は病院・施設等に就職し、実務経験を積んだ後に進学したい」と回答した者が 31 名（9.2%）いた。

したがって、専門学校卒業後すぐに大学院に進学するニーズに加えて、柔道整復師として実務経験を積んだ後に大学院に進学を希望するニーズが高いことが分かった。

#### 資料 6 人材需要等に関するアンケート調査（病院・施設等対象）

平成 31 年 1 月に、本学の医療科学部東京柔道整復学科の実習に協力頂いている病院・施設等を対象に、本専攻に対する人材需要等に関するアンケート調査を実施したところ、21 件の病院・接骨院（整骨院）等から回答を得た。

問 2 で、現職の柔道整復師に、働きながら大学院で学ぶことを推奨するか質問したところ、「大いに推奨する」が 8 件（38.1%）、「どちらかと言えば推奨する」が 4 件（19.0%）だった。したがって、これらを合計すると 12 件（57.1%）の病院・接骨院（整骨院）等が、現職の柔道整復師に働きながら大学院で学ぶことを推奨していることが分かった。

また、問 3 で医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻を修了した柔道整復師を採用したいか質問したところ、「採用したい」が 10 件（47.6%）、「採用を検討したい」が 7 件（33.3%）だった。したがって、これらを合計すると 17 件（81.0%）の病院・接骨院（整骨院）等が医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻を修了した柔道整復師に対して採用意欲を持っていることが分かった。

#### 資料 7 医療科学部東京柔道整復学科の卒業生の進路（過去 3 ヶ年）

本学の医療科学部東京柔道整復学科の卒業生の進路について過去 3 年間分（平成 27 年 3 月卒～平成 29 年 3 月卒）をまとめた。

進路で最も多いのが接骨院であり、半数以上が病院・医院、接骨院、デイケア（介護施設）、フィットネス系、医療関連企業等の柔道整復師に関連する職に就いている。

また、過去3年間で計5名が卒業後に進学（大学院・専門学校）しており、このことから本専攻への進学を一定数見込むことができる。

#### ウ 学生納付金の設定の考え方

医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻の学生納付金については、本学の既設の研究科及び近隣の競合大学院の学生納付金（資料8）を参考に、適切な金額を設定した。

### ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学大学院では学生確保に向けた取組を次の通り行っており、以降も継続してこれらの取組を実施していく方針である。

#### ア オープンキャンパス

本学では毎年、オープンキャンパスをキャンパス毎に開催している。平成30年度は、千住キャンパスで7回、上野原キャンパスで6回開催した。

#### イ ホームページ

本学のホームページは誰にでも見やすく分かりやすい構成となっている。また、何度も本学のホームページを見たいくなるように、お知らせ、ニュース、イベント情報、各学部学科・研究科のページの更新速度を上げるよう全学をあげて取り組んでいる。さらに、スマートフォン向けのサイトの充実を図り、受験希望者向けに利便性の向上を図っている。

#### ウ 広報紙

大学総合情報誌、分野別情報誌や入学試験情報誌を中心に掲載を行っている。また、受験希望者の目に触れやすいWEB媒体にも力を入れている。学部も含めて約50媒体で本学の広報を行っている。なお、柔道整復師会の広報紙及び学術誌にも掲載し、社会人（現職柔道整復師）に向けた広報を強化する。

#### エ 広告

受験希望者のみならず多くの方に本学の名を広めるべく、SNS広告、看板広告を行っている。看板広告は、北千住駅・上野原駅・山梨市駅（本学キャンパスの最寄駅）を中心とした駅や、ターミナル駅に乗り入れている路線で展開している。

#### オ 教職員による病院・施設等の訪問

医療科学部東京柔道整復学科の実習先を中心とした病院・接骨院（整骨院）等に本学の教職員が訪問し、現職の柔道整復師に向けた広報活動を行う。

#### カ 定員未充足（定員超過率 0.7 倍未満）の学科について

定員超過率 0.7 倍未満となっている医療科学部医療福祉学科については、学生確保のために次の対策を実施してきた。

- ①学科の教員が在学生と一緒に在学生の母校を訪問
- ②本学主催の学校説明会への参加
- ③オープンキャンパスにおける学科のアピールのために学科で独自の広報 DVD の作成
- ④学科独自のホームページの作成

入学生は、平成 28 年度が 31 名、平成 29 年度が 37 名、平成 30 年度が 48 名と増加しているが、定員充足のために適正な入学定員の見直しを行うこととした。平成 30 年度に収容定員変更届出を提出し、平成 31 年度の入学定員を 80 名から 50 名に変更した。現在のところ、平成 31 年度入学者数は、52 名の見込みである。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

近年高齢化が進み、団塊世代を中心とした中・高齢者層人口が急激に増加してきている。いわゆる超高齢社会を迎える我が国では、国民の疾病構造が大きく変貌し、高血圧、糖尿病、脂質異常症などいわゆる生活習慣病が起因となり、心筋梗塞や脳卒中などを発症する危険性が高くなっている。その予防対策としての運動（あるいはスポーツを通じた運動）については、2020年の東京オリンピック開催の影響もありその人口が増加してきているが、運動による骨折、脱臼、捻挫、打撲・挫傷等のいわゆる外傷が増加している。

このような社会状況の中、本学では、スポーツ（運動）を通じて健康管理の支援を行い、生活習慣病や外傷の予防・改善の支援を行うことにより、人々の健康づくりを推進し「健康で豊かな生活を享受する」為に、それらの支援等に貢献できる高度専門職業人の育成を目的として医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻を設置する。

### ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

我が国では、当初予測された以上に急速な高齢化が進み、また医療が細分化・専門化したことによって、総合的な視点で患者をトータルにケアすることのできる体制と、それを実施することができる有能な人材の養成が社会から望まれるようになった。医療の専門化については、多くの専門医療職を育成、誕生させることにより対応を図ってきたが、患者の病態全体を全人的な視点で考えることのできる資質を持つ人材が、各医療専門職にこれまで以上に求められている。柔道整復師においても、病院、施設、地域活動等、実践の場でリーダーとして活躍できる高度専門職業人が求められている。

本専攻の設置を予定している本学千住キャンパスがある足立区は、東京23区の最北端に位置し、人口70万人を擁している。少子高齢化が進む中で、足立区の健康状況（あだち元気プロジェクト；健康あだち21（第二次）行動計画）をみると、健康寿命は男性が23区中19位、女性が最下位である。さらに国民健康保健医療費の占める疾病割合で見ると、生活習慣病の治療者が全国平均、東京平均よりも高くなっている。国民健康保険による保健指導率では、全国市町村平均で約19%であるのに対し約3.6%と低くなっている。保健指導による生活習慣病予防への取組が喫緊の課題である。また、同調査によると、出生児の中で生活習慣病のリスクがある子供は約1割を占め、妊娠前・妊娠期からの健康管理が重要であるとの結果であった。足立区としても、全国市町村においても、「健康づくり」の支援を行い、生活習慣病の予防への取組が健康寿命を伸ばし、医療費の負担減にも繋がり、結果として1億総活躍社会を構築できると考える。

本学では、地方自治体と密接な連携のもとに、専門教育並びに事業を展開する新たな大学との連携のあり方を提案し、学生参加型の地域貢献活動、市民向け公開講座、セミナーの開催、区内企業や地域活性に資する研究・調査活動、小・中・高等学校におけるインターンシップや教育活動支援などの学校連携事業、地域イベントへの協力、市民参加型の学園祭の開催などに取り組み、地域における真摯に直接的に向き合う姿勢と貢献は、地域からも高く評価されている。新たな専攻設置により、総合リハビリテーション学専攻と連携しながら、さらに濃密な地域貢献が期待できると考えている。

「学校管理下の災害 [平成 30 年版]」（独立行政法人日本スポーツ振興センター）によると、平成 28 年度の学校管理下における負傷・疾病発生件数は、103 万 882 件だった。そのうちのほとんどが、骨折、脱臼、捻挫、打撲・挫傷等の外傷であり、体育館、屋外運動場や校庭での運動時に多く発生している。外傷への対処としては、医師による治療の他、柔道整復師による施術が挙げられる。柔道整復師は、骨折、脱臼、捻挫、打撲・挫傷等の急性外傷に対する施術を業とし、手術をしない「非観血的療法」を用いて整復や固定を行い、外傷部の回復を図る医療従事者である。

厚生労働省「平成 28 年衛生行政報告例」によれば、就業柔道整復師の人数は、平成 18 年の 38,693 名から、10 年間で 29,427 名増加し、平成 28 年は 68,120 名になった。また、柔道整復の施術所は、平成 18 年の 30,787 か所から、10 年間で 17,237 か所増加し、平成 28 年は 48,024 か所となっている。以上のように、柔道整復師及び施術所のどちらも急速に増加している（資料 9）。

厚生労働省「柔道整復師学校・養成施設数、定員年度別推移」によれば、柔道整復師学校・養成施設は、平成 10 年は 14 校、定員 1,050 名であったが、平成 21 年には 104 校、定員 9,205 名と定員ベースでピークを迎えた。平成 27 年には 109 校、定員 8,797 名となり、定員はピークより 408 名減少したが、校数は過去最大となっている。近年は、文部科学省が所轄する大学の校数および入学定員が増えており、柔道整復分野においても学士レベルの教育・研究に対するニーズが高まっている。（資料 10、出典：柔道整復師学校養成施設カリキュラム等改善検討会第 1 回参考資料）

中央教育審議会「新時代の大学院教育—国際的に魅力のある大学院教育の構築に向けて—答申」（平成 17 年 9 月 5 日）によれば、「看護学系・医療技術系分野は特に実践性が求められることから、いずれのプログラムにおいても、専門職業人としての一定の実務経験を経てから入学させることが望ましい」と提言されており、本学の現職柔道整復師を受け入れる方針はこの提言に合致している。

国際的には、柔道整復は、WHO 発行の「伝統医療と相補・代替医療に関する報告」(平成 13 年)で「柔道セラピー」として紹介された。また、米国の国立補完代替医療センター (NCCAM) において補完代替医療の科学的根拠構築が進められている。

平成 31 年 1 月に、本学の医療科学部東京柔道整復学科の実習施設として協力頂いている病院・施設等を対象とした人材需要等に関するアンケート調査(資料 6)を実施したところ、21 件の病院・接骨院(整骨院)等から回答を得た。

問 2 で現職の柔道整復師に働きながら大学院で学ぶことを推奨するか質問したところ、「大いに推奨する」が 8 件(38.1%)、「どちらかと言えば推奨する」が 4 件(19.0%)だった。したがって、これらを合計すると 12 件(57.1%)の病院・接骨院(整骨院)等が、現職の柔道整復師に働きながら大学院で学ぶことを推奨していることが分かった。

また、問 3 で医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻を修了した柔道整復師を採用したいか質問したところ、「採用したい」が 10 件(47.6%)、「採用を検討したい」が 7 件(33.3%)だった。したがって、これらを合計すると 17 件(81.0%)の病院・接骨院(整骨院)等が医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻を修了した柔道整復師に対して採用意欲を持っていることが分かった。

病院・施設等を対象としたアンケート結果からも本専攻の養成する人材像が人材需要に合致していると言える。

以上から、本学の医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻設立は地域及び社会の要請であり、人材需要の動向を踏まえたものである。

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 資料目次

- 【資料 1】 私立大学院の保健系修士課程の入学志願動向
- 【資料 2】 競合する大学院修士課程の入学定員及び入学者
- 【資料 3】 帝京科学大学大学院医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻  
進学に関するアンケート調査①（学部 3 年生対象）
- 【資料 4】 帝京科学大学大学院医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻  
進学に関するアンケート調査②（現職柔道整復師対象）
- 【資料 5】 帝京科学大学大学院医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻  
進学に関するアンケート調査③（専門学校生対象）
- 【資料 6】 帝京科学大学大学院医療科学研究科健康柔道整復学健康ケア専攻  
人材需要等に関するアンケート調査（病院・施設等対象）
- 【資料 7】 帝京科学大学医療科学部東京柔道整復学科の卒業生の進路（過去 3 ヶ年）
- 【資料 8】 競合する大学院修士課程の学費
- 【資料 9】 就業柔道整復師及び施術所の年次推移
- 【資料 10】 柔道整復師学校・養成施設数・定員 年度別推移

【資料1】 私立大学院の保健系修士課程の入学志願動向

区分	年度	集計 研究科数	入学定員 A	志願者 B	入学者 C	志願倍率 B/A	入学定員 充足率 C/A
保健系 (修士課程)	平成26年度	92	1,656	1,722	1,402	1.04	84.66%
	平成27年度	100	1,727	1,840	1,470	1.07	85.12%
	平成28年度	104	1,772	1,830	1,506	1.03	84.99%
	平成29年度	111	1,839	1,939	1,577	1.05	85.75%
	平成30年度	125	1,979	2,126	1,773	1.07	89.59%

出典：日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」(平成26～30年度)

【資料2】 競合する大学院修士課程の入学定員及び入学者数

大学院	研究科・専攻等	課程	所在地	入学定員	入学者数			
				平成30年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
帝京大学 大学院	医療技術学研究科 柔道整復学専攻	修士	栃木県 宇都宮市	6	2	2	1	
帝京平成大学 大学院	健康科学研究科 柔道整復学専攻	修士	東京都 豊島区	3	2	1	0	入学者不明のため、1年次学生数を記載。
東京有明医療大学 大学院	保健医療学研究科 保健医療学専攻 柔道整復学分野	修士	東京都 江東区	5	6	6	4	入学者数は保健医療学専攻(入学定員10)全体の人数。
日本体育大学 大学院	保健医療学研究科 保健医療学専攻 高度実践柔道整復師コース	修士	神奈川県 横浜市	8	-	-	9	平成30年開設。コースの入学定員は設けておらず、保健医療学専攻全体の人数。

出典:各大学のホームページ

**【資料3】 帝京科学大学大学院医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻  
進学に関するアンケート調査①(学部3年生対象)**

調査期間：平成31年1月

調査対象：帝京科学大学医療科学部東京柔道整復学科の3年次に在籍している者

調査方法：設置構想を記載した書面とともにアンケート用紙を配布し、回答を依頼した。無記名式。

回収件数：65件

問1 あなたの性別をお答えください。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	男性	47	72.3%
2	女性	18	27.7%
	無回答	0	0.0%
	計	65	100.0%

問2 大学卒業後の希望進路についてお答えください。※複数回答可

番号	選択肢	回答数	回答率
1	柔道整復師として病院・接骨院(整骨院)等に就職	56	86.2%
2	スポーツジム関連業種に就職	26	40.0%
3	大学院への進学を希望	4	6.2%
4	その他	14	21.5%
	無回答	0	0.0%
	回答者数	65	100.0%

問3 柔道整復師が大学院で学ぶことには、どのような意義があると思いますか。※複数回答可

番号	選択肢	回答数	回答率
1	高度な専門知識と技術を身につけることができる。	46	70.8%
2	学位を取得し、将来は教育者・研究者を目指すことができる。	30	46.2%
3	自分の興味がある分野について深く研究することができる。	47	72.3%
4	柔道整復師のリーダーとして臨床の現場で活躍することができる。	5	7.7%
5	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	回答者数	65	100.0%

問4 帝京科学大学 大学院 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻(仮称)に進学したいと思いますか。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	卒業後すぐに進学したい。	2	3.1%
2	卒業後は病院・施設等に就職し、実務経験を積んだ後に進学したい。	6	9.2%
3	どちらとも言えない。	22	33.8%
4	進学したいとは思わない。	35	53.8%
	無回答	0	0.0%
	計	65	100.0%

【資料4】 帝京科学大学大学院医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻  
進学に関するアンケート調査②(現職柔道整復師対象)

調査期間: 平成31年1月

調査対象: 帝京科学大学医療科学部東京柔道整復学科を卒業した柔道整復師

調査方法: 設置構想を記載した書面とアンケート用紙を郵送し、回答を依頼した。無記名式。

回収件数: 22件

問1 あなたの年齢、性別、お住まい(都道府県)をお答えください。

【年齢】

番号	選択肢	回答数	構成比
1	23歳	6	27.3%
2	24歳	8	36.4%
3	25歳	7	31.8%
4	27歳	1	4.5%
	無回答	0	0.0%
	計	22	100.0%

【性別】

番号	選択肢	回答数	構成比
1	男性	13	59.1%
2	女性	9	40.9%
	無回答	0	0.0%
	計	22	100.0%

【居住地】

番号	選択肢	回答数	構成比
1	宮城県	1	4.5%
2	茨城県	1	4.5%
3	埼玉県	6	27.3%
4	千葉県	4	18.2%
5	東京都	6	27.3%
6	神奈川県	2	9.1%
7	大分県	2	9.1%
	無回答	0	0.0%
	計	22	100.0%

問2 柔道整復師としての経験年数をお答えください。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	1年未満	5	22.7%
2	1年～3年未満	11	50.0%
3	3年～5年未満	6	27.3%
4	5年～10年未満	0	0.0%
5	10年以上	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	22	100.0%

問3 柔道整復師が大学院で学ぶことには、どのような意義があると思いますか。※複数選択可

番号	選択肢	回答数	回答率
1	高度な専門知識と技術を身につけることができる。	9	40.9%
2	学位を取得し、将来は教育者・研究者を目指すことができる。	13	59.1%
3	自分の興味がある分野について深く研究することができる。	16	72.7%
4	柔道整復師のリーダーとして臨床の現場で活躍することができる。	2	9.1%
5	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	回答者数	22	100.0%

問4 帝京科学大学 大学院 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻(仮称)に進学したいと思いますか。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	進学したい。	1	4.5%
2	将来的には進学したい。	1	4.5%
3	どちらともいえない。	13	59.1%
4	進学したいとは思わない。	6	27.3%
	無回答	1	4.5%
	計	22	100.0%

問5 大学院の講義は、月曜日から土曜日を開講する予定ですが、開始時間についてご希望がございましたらご記入ください。

番号	回答
1	10時または13時から
2	夜間
3	10時から

※上記の3件の回答を得た。

【資料5】 帝京科学大学大学院医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻  
進学に関するアンケート調査③(専門学校生対象)

調査期間: 平成31年1月

調査対象: 専修学校専門課程の柔道整復学科に在籍している者

調査方法: 設置構想を記載した書面とともにアンケート用紙を配布し、回答を依頼した。無記名式。

回収件数: 338件 (10校)

群馬県: 12件、埼玉県: 67件、東京都: 36件、静岡県: 22件

福岡県: 89件、長崎県: 48件、佐賀県: 51件、鹿児島県: 13件

問1 あなたの性別をお答えください。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	男性	255	75.4%
2	女性	83	24.6%
	無回答	0	0.0%
	計	338	100.0%

問2 専門学校卒業後の希望進路についてお答えください。※複数選択可

番号	選択肢	回答数	回答率
1	柔道整復師として病院・接骨院(整骨院)等に就職	308	91.1%
2	スポーツジム関連業種に就職	62	18.3%
3	大学院への進学を希望	13	3.8%
4	その他	7	2.1%
	無回答	23	6.8%
	回答者数	338	100.0%

問3 柔道整復師が大学院で学ぶことには、どのような意義があると思いますか。※複数選択可

番号	選択肢	回答数	回答率
1	高度な専門知識と技術を身につけることができる。	225	66.6%
2	学位を取得し、将来は教育者・研究者を目指すことができる。	129	38.2%
3	自分の興味がある分野について深く研究することができる。	211	62.4%
4	柔道整復師のリーダーとして臨床の現場で活躍することができる。	78	23.1%
5	その他	1	0.3%
	無回答	5	1.5%
	回答者数	338	100.0%

問4 帝京科学大学 大学院 医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻(仮称)に進学したいと思いますか。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	卒業後すぐに進学したい。	6	1.8%
2	卒業後は病院・施設等に就職し、実務経験を積んだ後に進学したい。	31	9.2%
3	どちらとも言えない。	141	41.7%
4	進学したいとは思わない。	160	47.3%
	無回答	0	0.0%
	計	338	100.0%

**【資料6】 帝京科学大学大学院医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻  
人材需要等に関するアンケート調査(病院・施設等対象)**

調査期間: 平成31年1月

調査対象: 帝京科学大学医療科学部東京柔道整復学科の実習施設として協力頂いている病院・施設等

調査方法: 設置構想を記載した書面とアンケート用紙を郵送し、回答を依頼した。無記名式。

回収件数: 21件

問1 貴施設についてお答えください。

**【施設種類】**

番号	選択肢	回答数	構成比
1	病院・クリニック	1	4.8%
2	接骨院(整骨院)	20	95.2%
3	老人福祉施設	0	0.0%
4	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	21	100.0%

**【所在地】**

番号	選択肢	回答数	構成比
1	茨城県	1	4.8%
2	埼玉県	3	14.3%
3	千葉県	3	14.3%
4	東京都	10	47.6%
5	神奈川県	2	9.5%
	無回答	2	9.5%
	計	21	100.0%

**【柔道整復師の人数】**

番号	選択肢	回答数	構成比
1	1人～4人	13	61.9%
2	5人～9人	2	9.5%
3	10人～19人	3	14.3%
4	20人～99人	2	9.5%
5	100人以上	1	4.8%
	無回答	0	0.0%
	計	21	100.0%

**【その他医療職の人数】**

番号	選択肢	回答数	構成比
1	0人	2	9.5%
2	1人～4人	7	33.3%
3	5人～9人	0	0.0%
4	10人～19人	0	0.0%
5	20人～99人	2	9.5%
6	100人以上	0	0.0%
	無回答	10	47.6%
	計	21	100.0%

問2 現職の柔道整復師に、働きながら大学院で学ぶことを推奨しますか。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	大いに推奨する。	8	38.1%
2	どちらかといえば推奨する。	4	19.0%
3	どちらとも言えない。	8	38.1%
4	どちらかといえば推奨しない。	0	0.0%
5	全く推奨しない。	1	4.8%
	無回答	0	0.0%
	計	21	100.0%

問3 帝京科学大学大学院 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻(仮称)を修了した柔道整復師を採用したいですか。

番号	選択肢	回答数	構成比
1	採用したい。	10	47.6%
2	採用を検討したい。	7	33.3%
3	どちらとも言えない。	4	19.1%
4	採用しない。	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	計	21	100.0%

問4 帝京科学大学大学院 医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻(仮称)に対してご意見・ご要望等があればお書きください(問2～問3でご回答頂いた理由などを含め)。

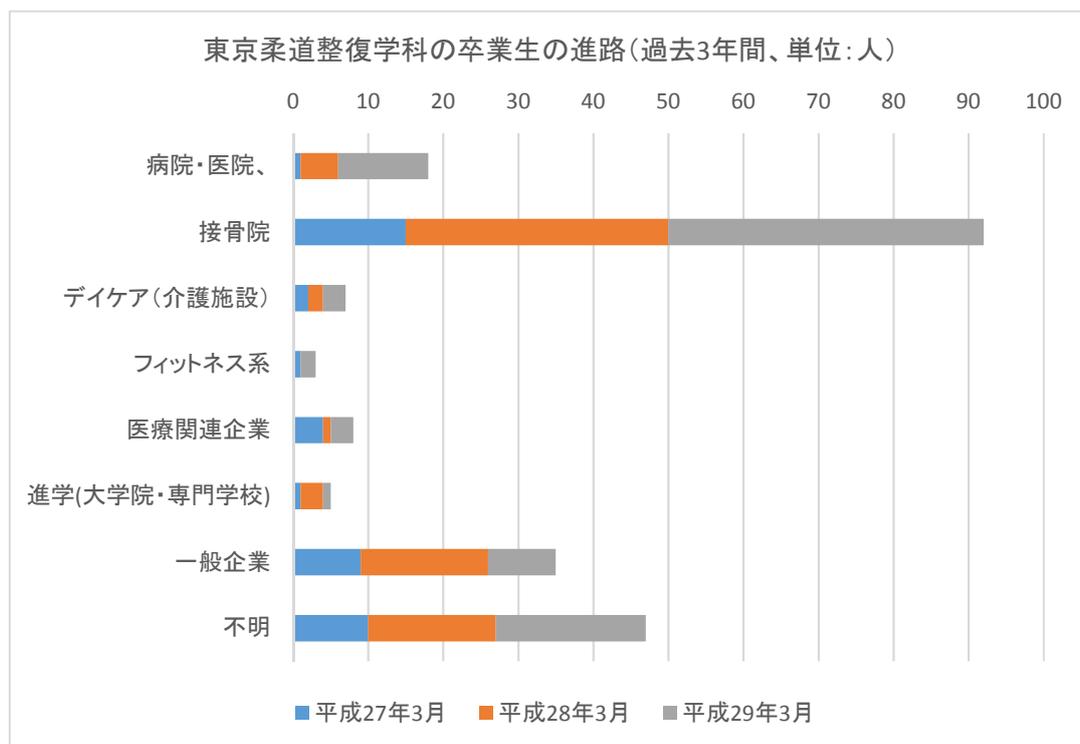
番号	回答
1	学ぶ姿勢のある人材を大いに雇用していきたい。
2	大学院は研究を中心に実験的基礎研究をする機関として成立しなければと思います。臨床現場とは異なる科学的なものが大学院であると思います。これを働きながら学ぶことは無理であろうと思います。これから学問として解明しなければならない諸問題とむきあうみでも真剣な研究体制を敷いた領域であることを熱望致します
3	今後当院の治療内容、トレーニング内容の説明講習会の場を設けていただきたいです。
4	知識的には高いレベルの方は採用したい。大学院の通学については本人の希望にもよります。
5	現場だけでなく多くの知識を学び更なるレベルアップを望むため。
6	知識だけでなく、人間性や技術なども備わった人材なら良いと思います。
7	先進的な知識が学べるのは素晴らしいと思いますが現実的に働きながら学校に通うのは難しいのではないかと思います。
8	実用的、実践的技術の修得、現場医学知識の修得
9	確かに知識はあった方が良いが技術や人間性がある方を採用したい。

※上記の9件の回答を得た。

【資料7】 帝京科学大学医療科学部東京柔道整復学科の卒業生の進路(過去3ヶ年)

進路	卒業		
	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月
病院・医院、	1	5	12
接骨院	15	35	42
デイケア(介護施設)	2	2	3
フィットネス系	1	0	2
医療関連企業	4	1	3
進学(大学院・専門学校)	1	3	1
一般企業	9	17	9
不明	10	17	20
計	43	80	92

(単位:人)



【資料8】 競合する大学院修士課程の学費

大学院	研究科・専攻等	課程	所在地	学費(円)		
				入学金	授業料等	初年度納入金
帝京科学大学 大学院	医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻	修士	東京都 足立区	¥310,000	¥840,000	¥1,150,000
帝京大学 大学院	医療技術学研究科 柔道整復学専攻	修士	栃木県 宇都宮市	¥300,000	¥820,000	¥1,120,000
帝京平成大学 大学院	健康科学研究科 柔道整復学専攻	修士	東京都 豊島区	¥200,000	¥961,750	¥1,161,750
東京有明医療大学 大学院	保健医療学研究科 保健医療学専攻 柔道整復学分野	修士	東京都 江東区	¥300,000	¥1,200,000	¥1,500,000
日本体育大学 大学院	保健医療学研究科 保健医療学専攻 高度実践柔道整復師コース	修士	神奈川県 横浜市	¥300,000	¥833,000	¥1,133,000

※学外出身者の学費。

出典:各大学のホームページ

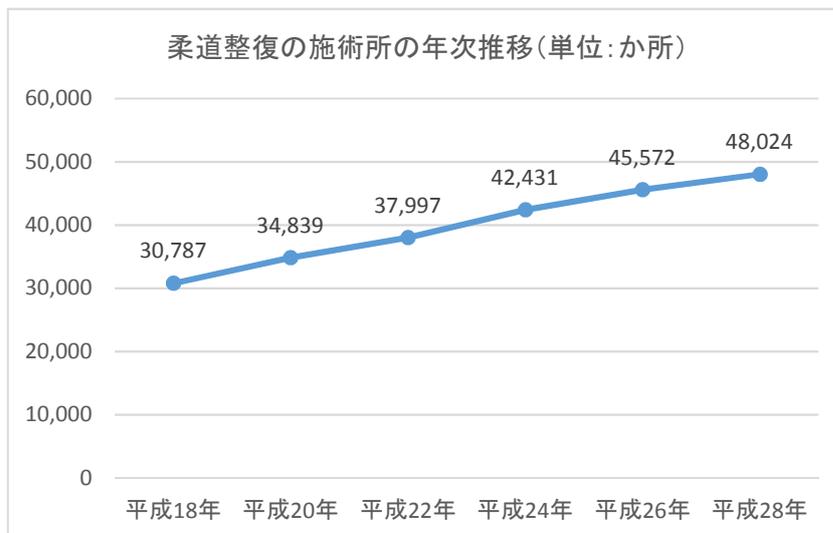
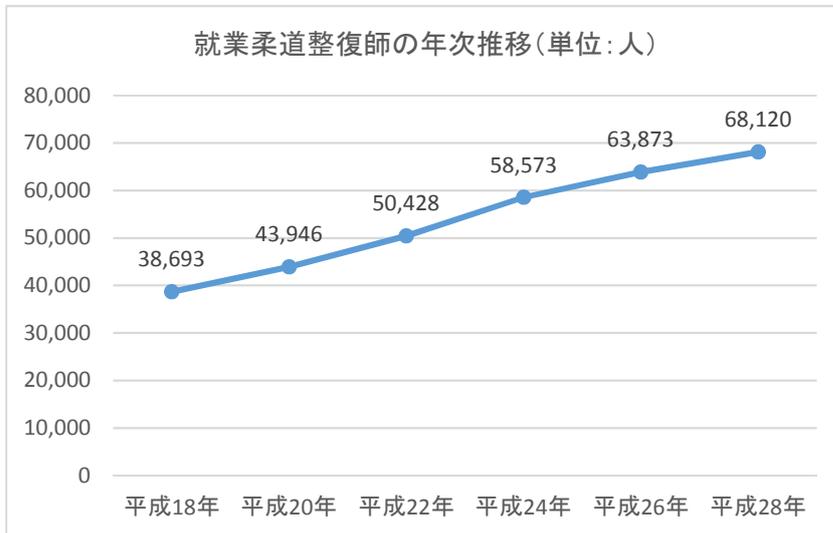
【資料9】 就業柔道整復師及び施術所の年次推移

各年末現在

	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年
就業柔道整復師(人)	38,693	43,946	50,428	58,573	63,873	68,120
柔道整復の施術所(か所)	30,787	34,839	37,997	42,431	45,572	48,024

※平成22年は、東日本大震災の影響により、宮城県が含まれていない。

出典：厚生労働省「平成28年衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況」



## 【資料10】

## 柔道整復師学校・養成施設数、定員 年度別推移

年次	厚生労働省		文部科学省		計	
	施設(校)	定員(人)	施設(校)	定員(人)	施設(校)	定員(人)
H10	14	1,050			14	1,050
H11	15	1,170			15	1,170
H12	25	2,190			25	2,190
H13	33	2,850			33	2,850
H14	48	3,960	1	60	49	4,020
H15	58	5,200	1	60	59	5,260
H16	66	5,860	3	209	69	6,069
H17	75	6,840	3	209	78	7,049
H18	77	7,110	3	209	80	7,319
H19	83	7,600	3	229	86	7,829
H20	90	8,068	7	539	97	8,607
H21	95	8,546	9	659	104	9,205
H22	91	8,008	11	779	102	8,787
H23	91	7,768	12	839	103	8,607
H24	91	7,798	14	899	105	8,697
H25	93	7,890	14	870	107	8,760
H26	91	7,740	16	990	107	8,730
H27	93	7,848	16	949	109	8,797

※厚生労働省医事課調べ

